

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000092
事業所名	グループホーム さち

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、夏祭りや防災訓練、イベントに参加している。事業所の庭先で「さち市」を月1回開催し、地域の農家から提供して頂いた野菜や入居者が作った雑巾などを販売している。入居者も売り手、買い手となり、地域の方と交流を深めている。図書館の利用や近隣の商店での買い物、清掃活動やゲームなどを通して高等専門学校学生ボランティアの訪問を定期的に受けるなど地域と密接に関わった暮らしをしている。また、飼い犬を連れて散歩をしながら、地域の人や託児所の子どもたちとの挨拶やおしゃべりも恒例となっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族や自治会長、民生委員、包括支援センターの職員の参加を得て、2ヶ月に1回、年6回開催している。地域から認知症や看取り、防災訓練などについて活発な情報交換や意見交換がされている。あらかじめ議題や検討項目を明確にさせ、意見交換をもとに改善に取り組んでいる。参加できなかった家族には、入居者の生活状況を写真にして会議録に取り入れ提供している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に地域包括支援センターの参加があり、情報や意見交換をしている。定期的に介護相談員を受け入れ入居者、家族、職員への指導や助言を受けている。市主催の研修に積極的に参加したり、機会があるごとにサービスの内容を伝え、協力関係を築くように取り組んでいる。また、豊田市の認知症家族会に向けての研修では講師として参加し、講話を通して認知症についての理解や啓蒙などに寄与している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々のケアの中で思いや意向を聞くようにし、家族からは、訪問時や行事などのイベントの折りに聞くように努めている。また、運営推進会議では、意見交換が活発に行われ運営に反映されている。日常的な意見や要望はケア記録や申し送りノートなどに記録し、ケア計画作成時や見直し時に反映するようにしている。改善結果については、運営推進会議やホームだよりなどで、報告をしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				